

茅ヶ崎市の将来推計人口

2022(令和4)年1月推計



人口推計とは

ある基準となる年から、将来の出生率、生残率、移動率等の予測を踏まえ、人口の推移を推定したもの

経済予測、政策(まちづくり、福祉、教育など)で活用されている

留意点

ある年を基準として、その時の人口動態より推計するものであり
実績値や過去の推計とは、人口推移や値は異なってくる

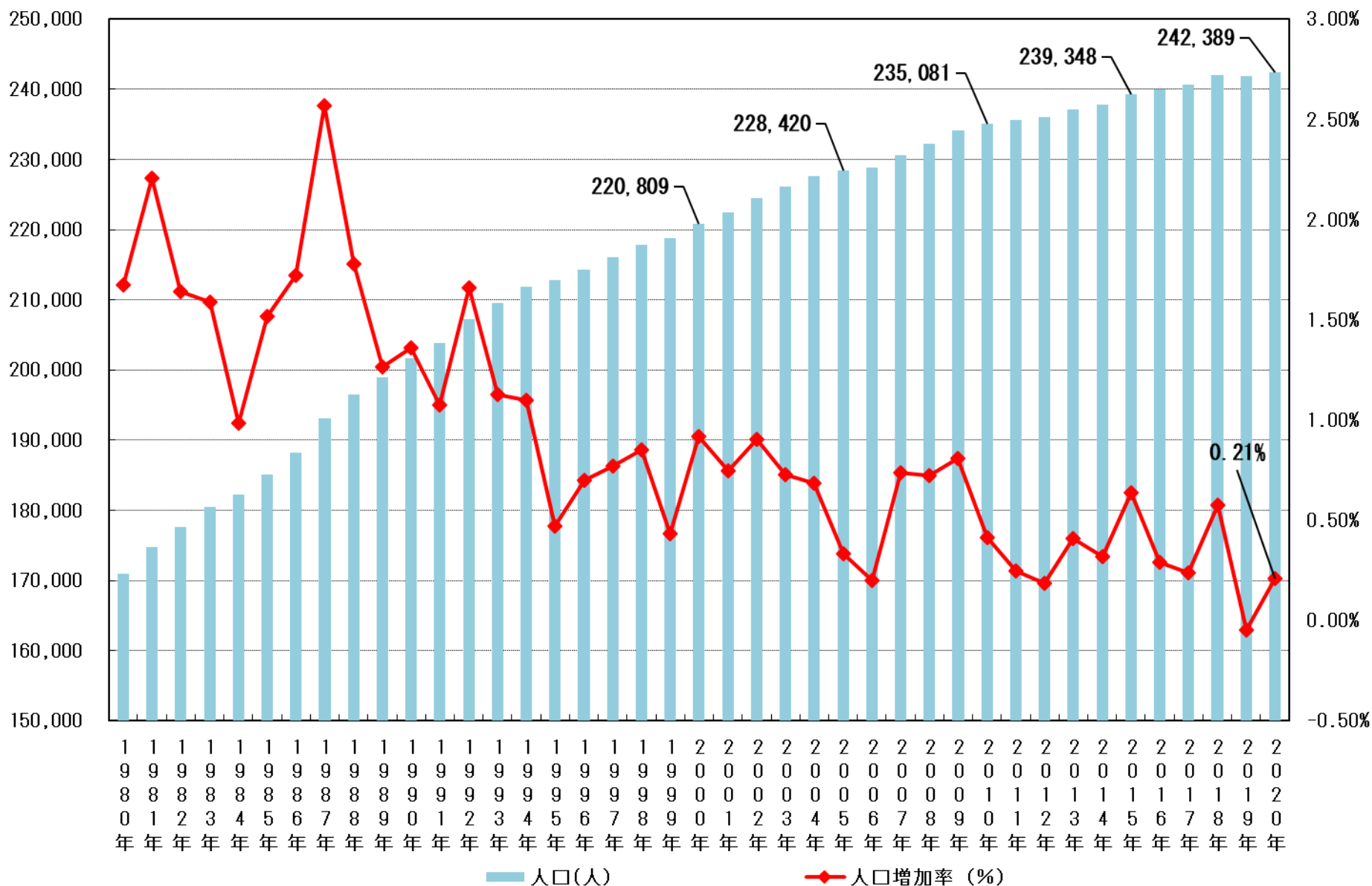
例えば、2020(令和2)年10月1日時点の茅ヶ崎市の人口では・・・

市	実績値: 242,389 人 (2020(令和2)年10月	国勢調査確定値)
市	推計値: 240,690 人 (2017(平成29)年2月	本市推計)
市	推計値: 239,600 人 (2008(平成20)年6月	本市都市マスタープラン推計)
社人研(※)	推計値: 241,486 人 (2018(平成30)年3月	推計)

※国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」と記載)

人口と人口増加率の推移

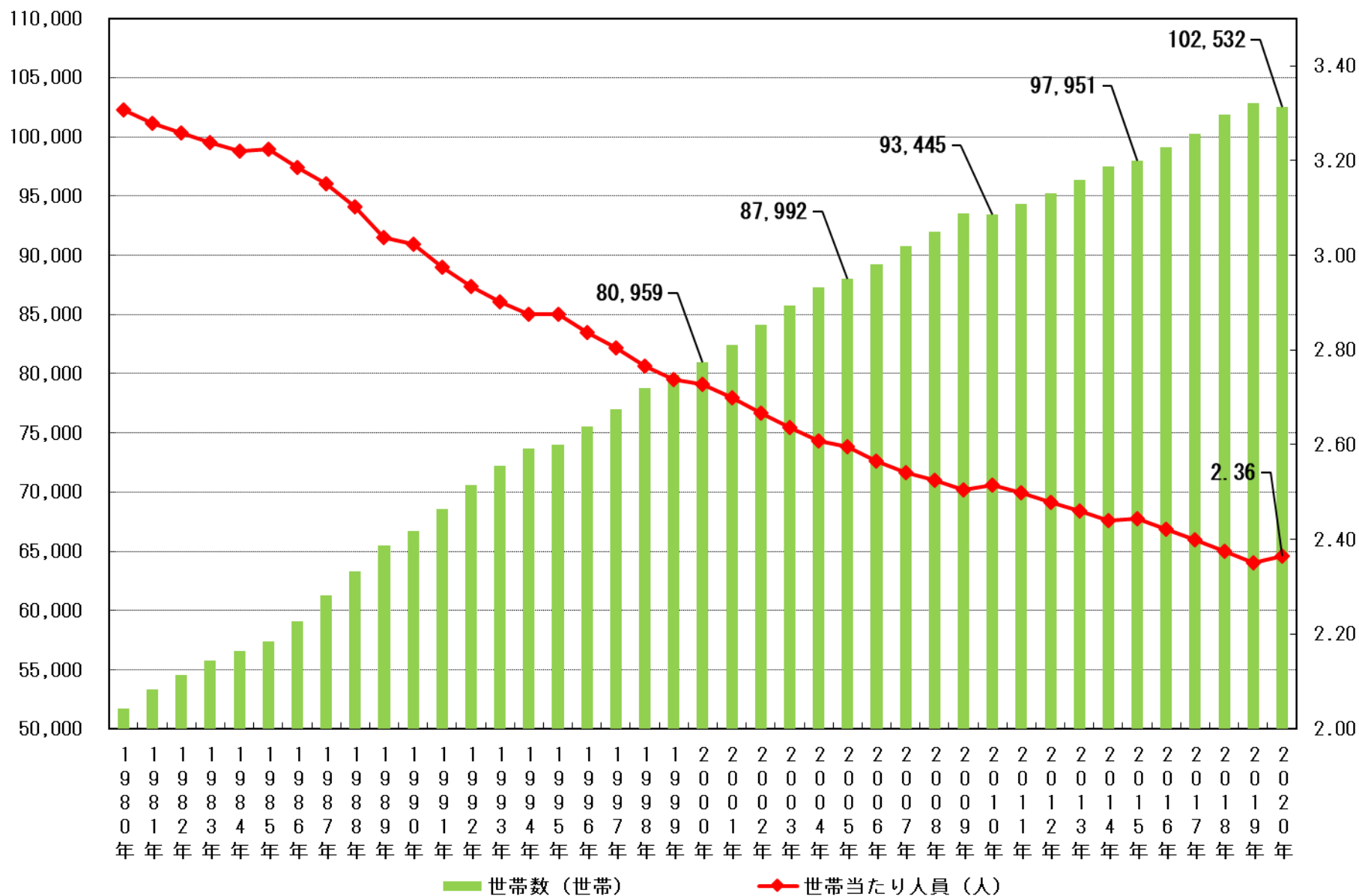
人



世帯数と世帯あたり人員の推移

世帯

人／世帯



人口推計方法

<前提条件>

手法 : コーホート要因法 ※手法、係数の設定ともに、2008(平成20)年(都市マスタープラン)、2017(平成29)年(本市推計)と基本的に同様

推計期間 : 2025(令和7)年~2045(令和27)年

使用データ : ー基準人口

2020(令和2)年国勢調査 5歳階級別人口(総務省統計局)

ー生残率・子ども女性比・0~4歳性比

『日本の地域別将来推計人口』(2018(平成30)年3月推計(社人研))

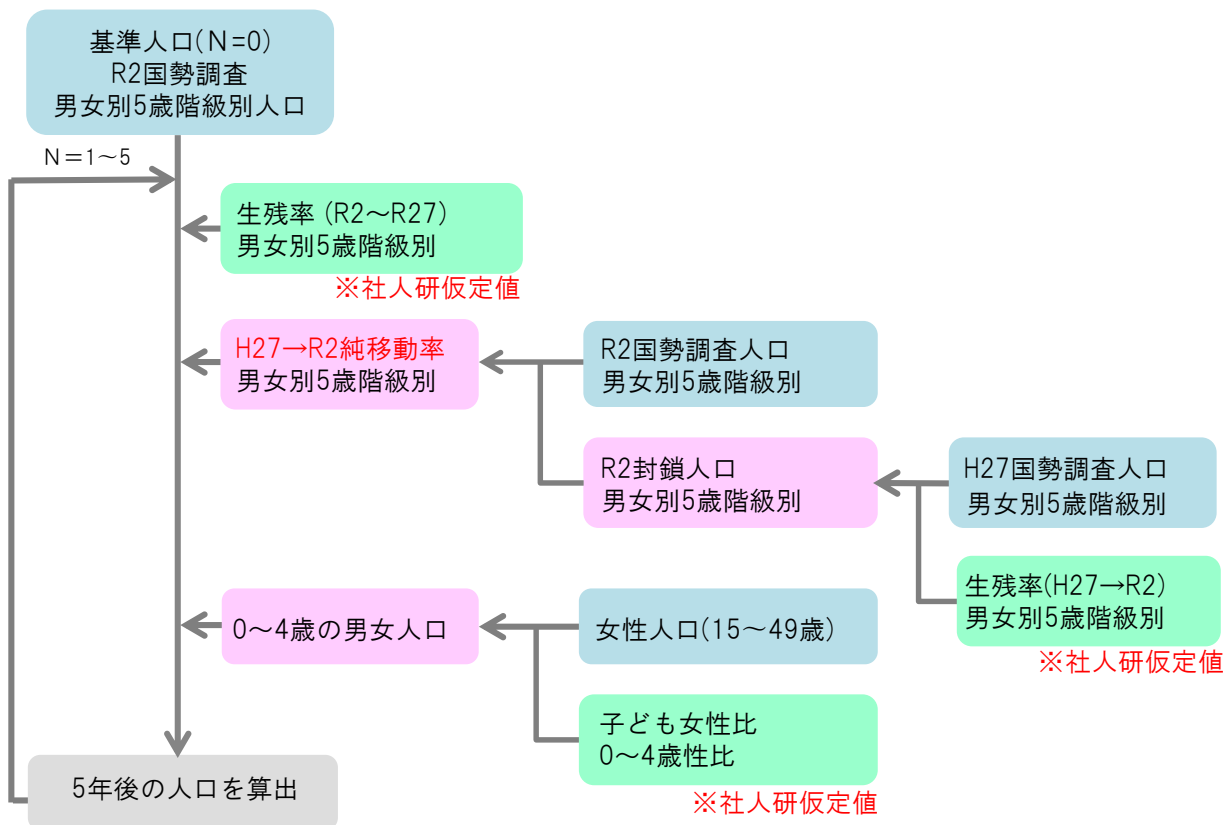
ー純移動率

◎純移動率一定(2015(平成27)年→2020(令和2)年移動率 直近5年の社会動態を加味し移動率を設定)

◎社人研の子ども女性比

◎封鎖人口(社会動態がないと想定したケース)

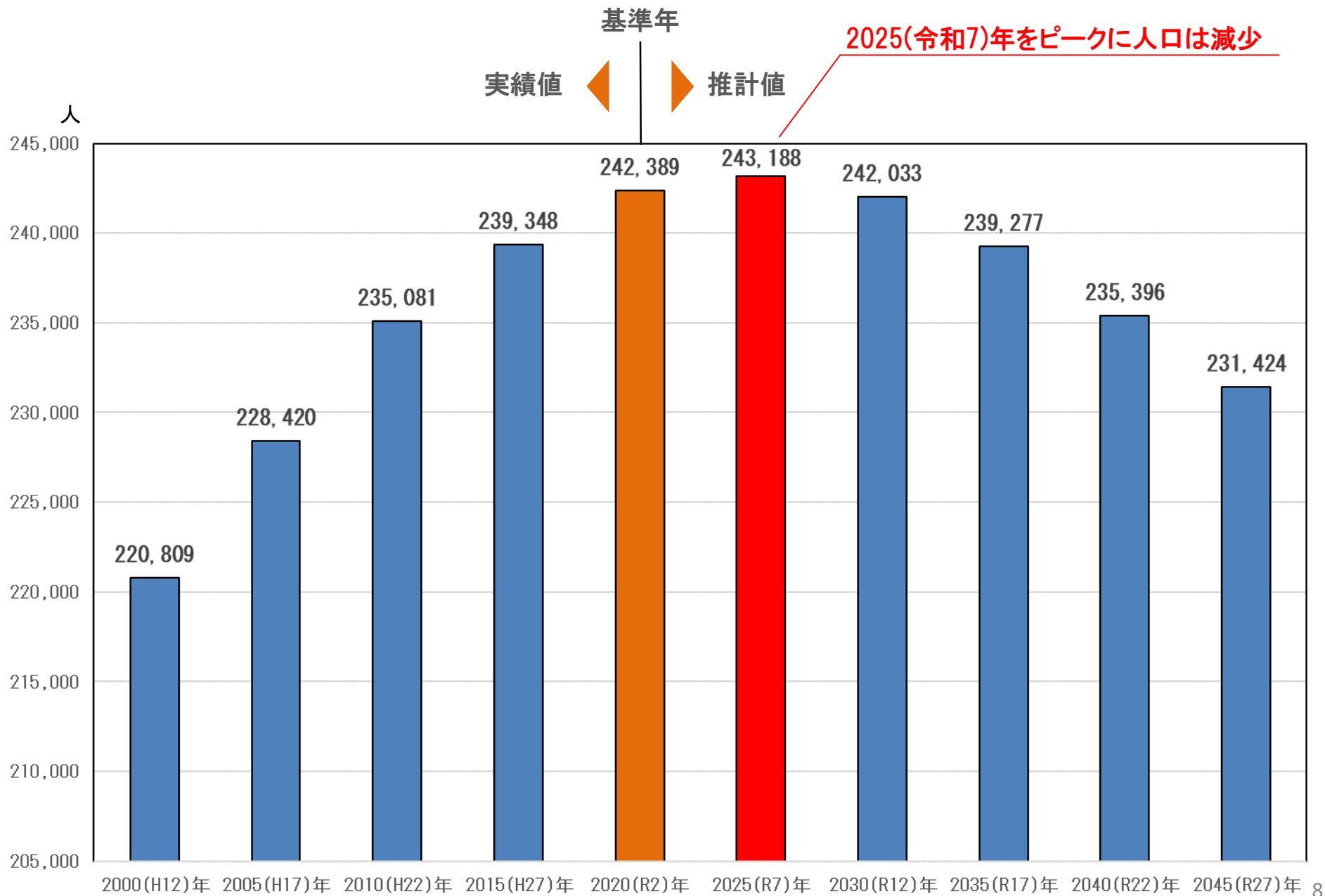
[推計フロー]



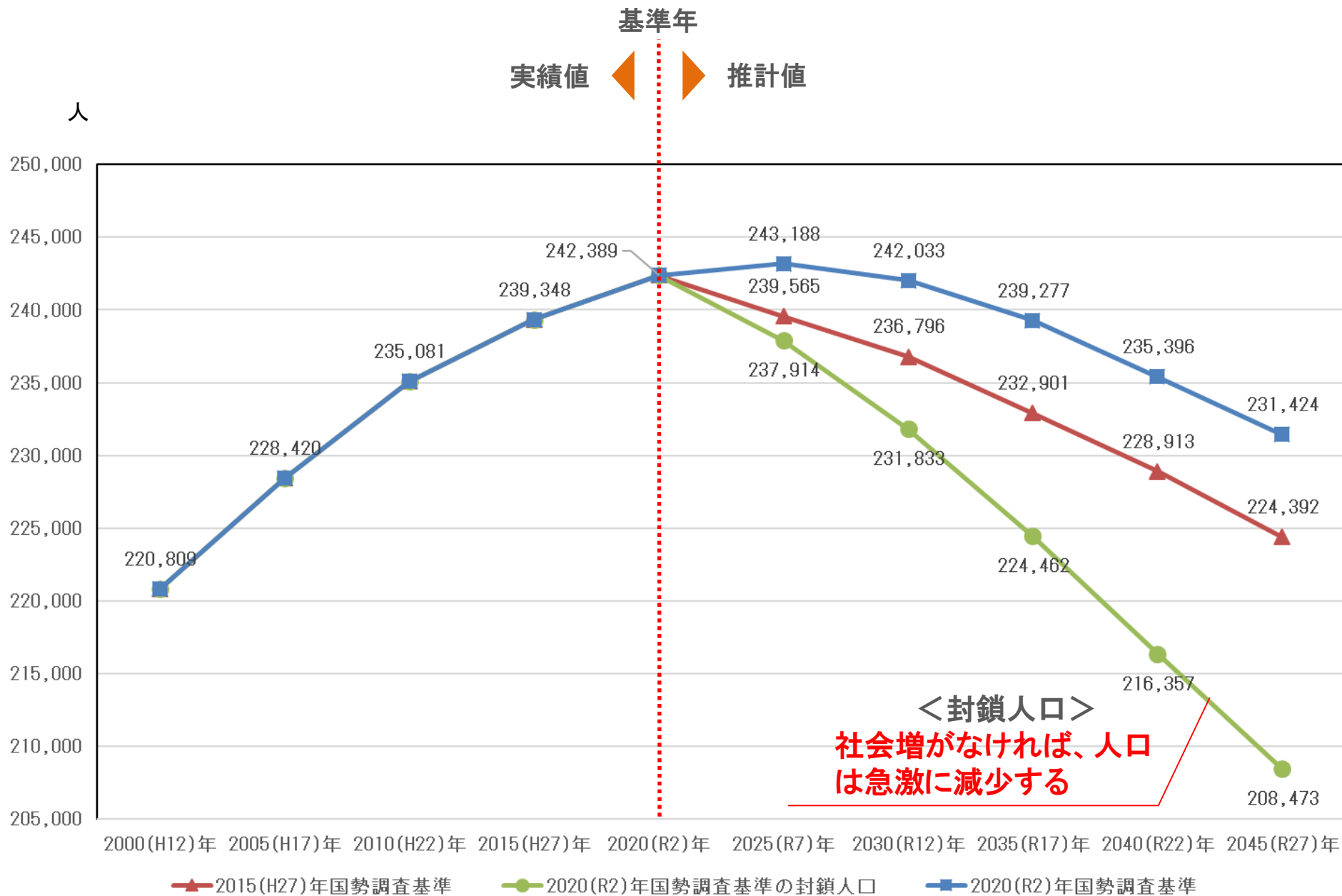
言葉の定義

コーホート 要因法	コーホートとは、同年(または同期間)に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団毎の時間変化を軸に人口の変化をとらえる方法
自然増減 社会増減	人口は、出生と転入により増加し、死亡と転出によって減少する 増加(減少)人口 = (出生 - 死亡) + (転入 - 転出) = 自然増減 + 社会増減
生残率	ある年齢X歳の人口が、5年後に(X+5)歳になるまで生き残る確率
0～4歳 性比	子ども(0～4歳)の性比(女兒に対する男児の比率)
純移動率	ある地域の転入超過数が地域人口に占める割合を示したもの 純移動数は、ある地域の転入数を示す
子ども 女性比	0～4歳の人口(男女計)を、同年の15～49歳女性人口で割った値
封鎖人口	人口の転入、転出がまったく起こらず、出生と死亡によってのみ人口が変動した場合に求められる人口

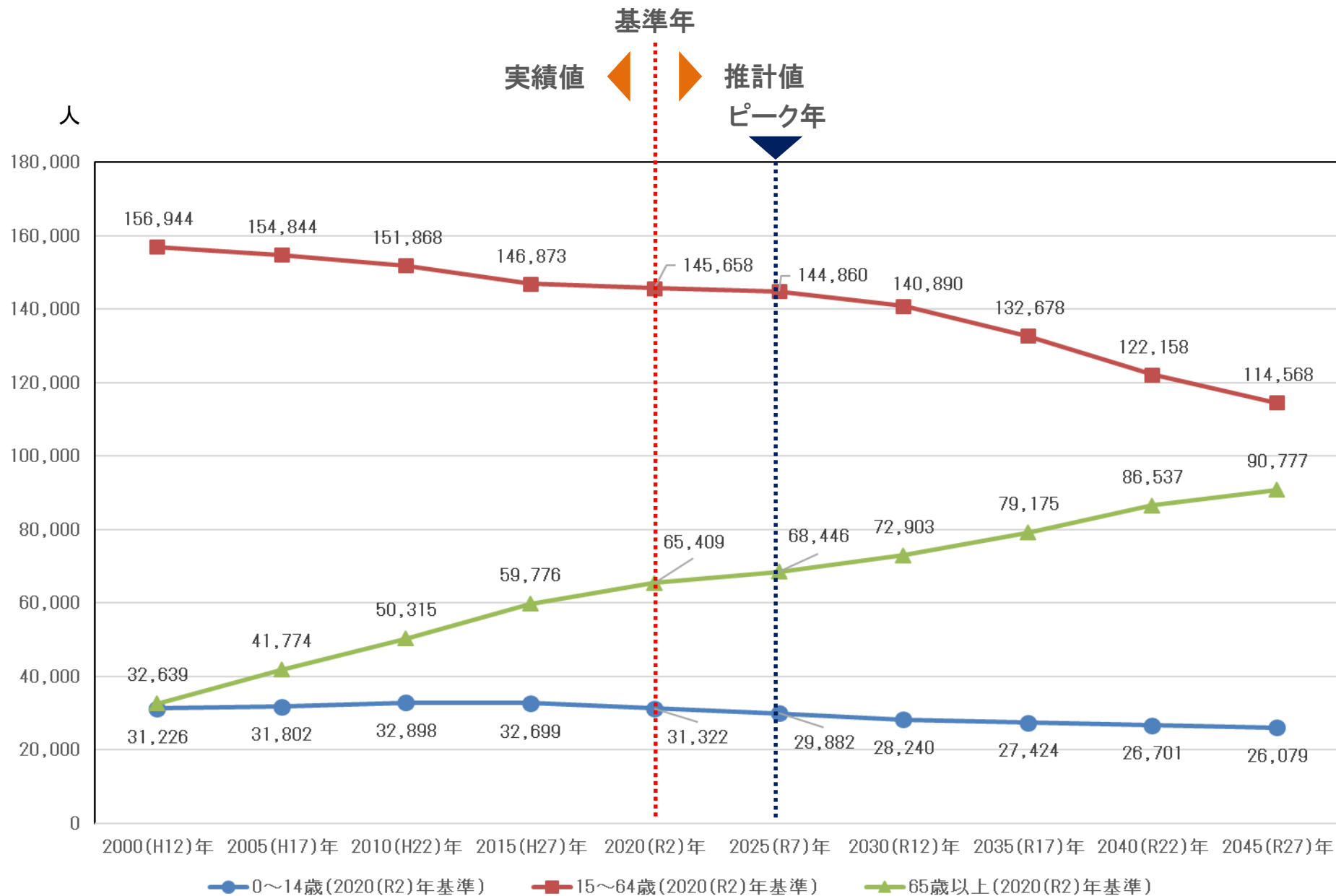
将来人口の推移



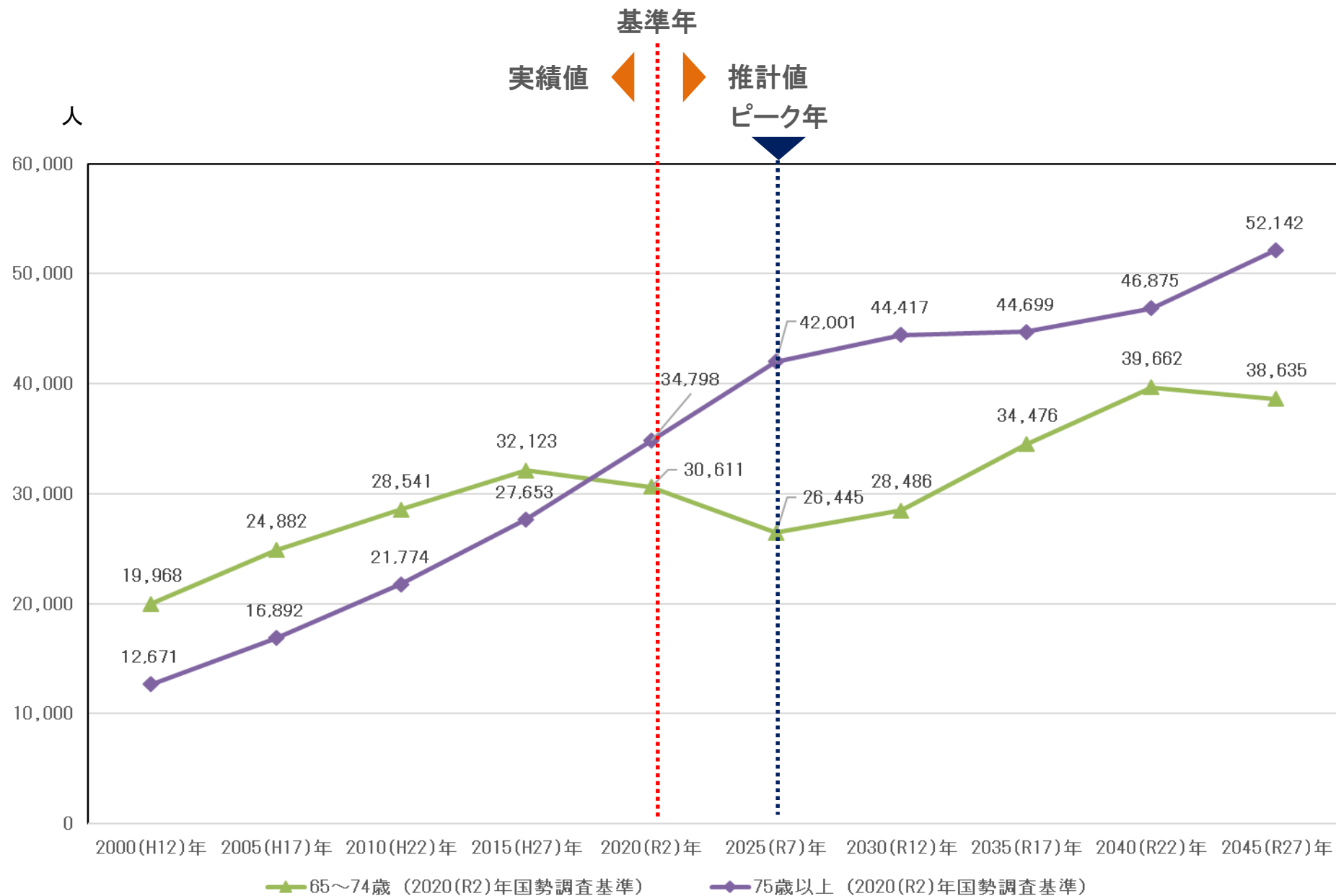
2015(H27)国勢調査基準と2020(R2)国勢調査基準の封鎖人口との比較



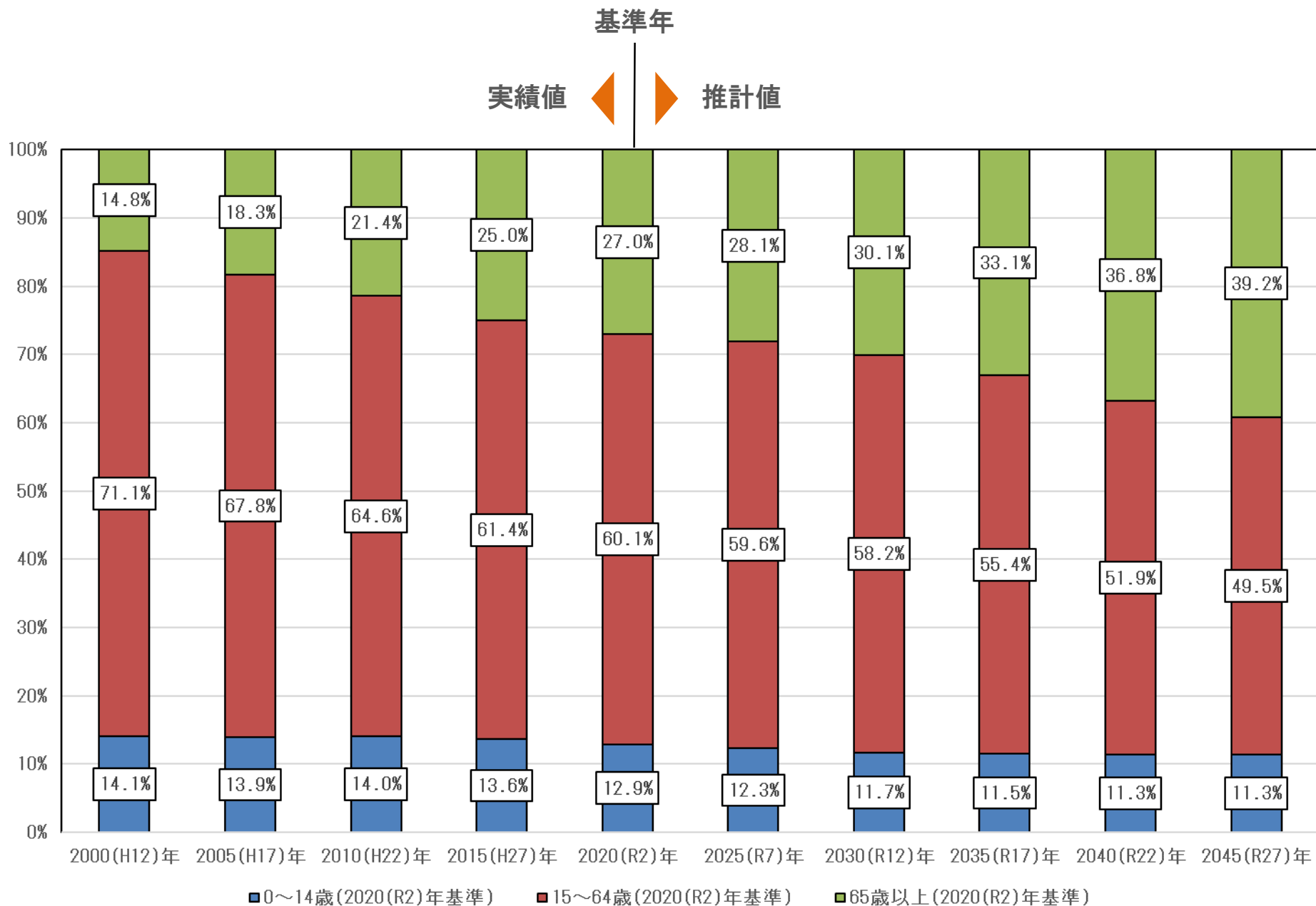
年齢3区分人口構成



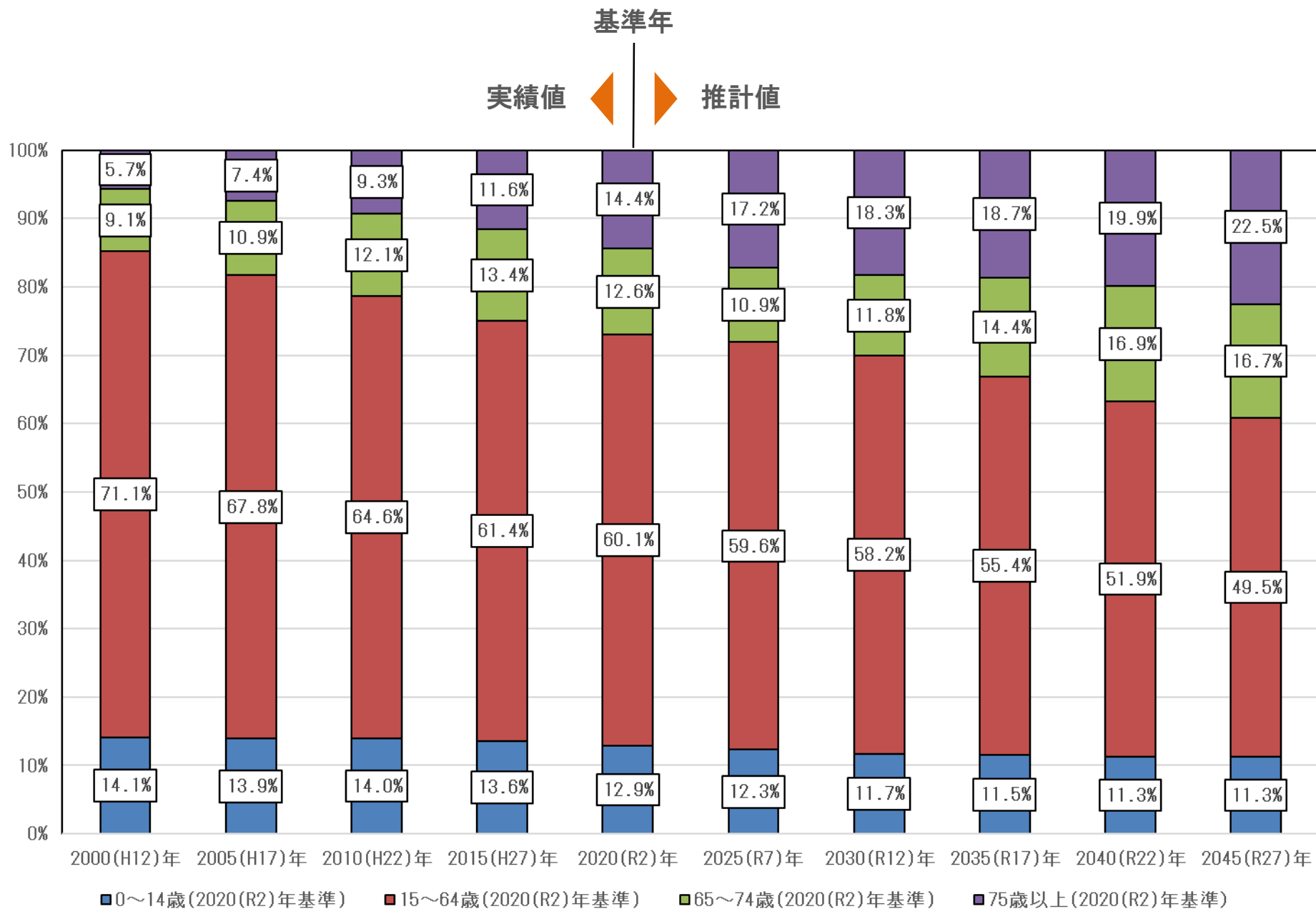
65～74歳、75歳以上人口の推移



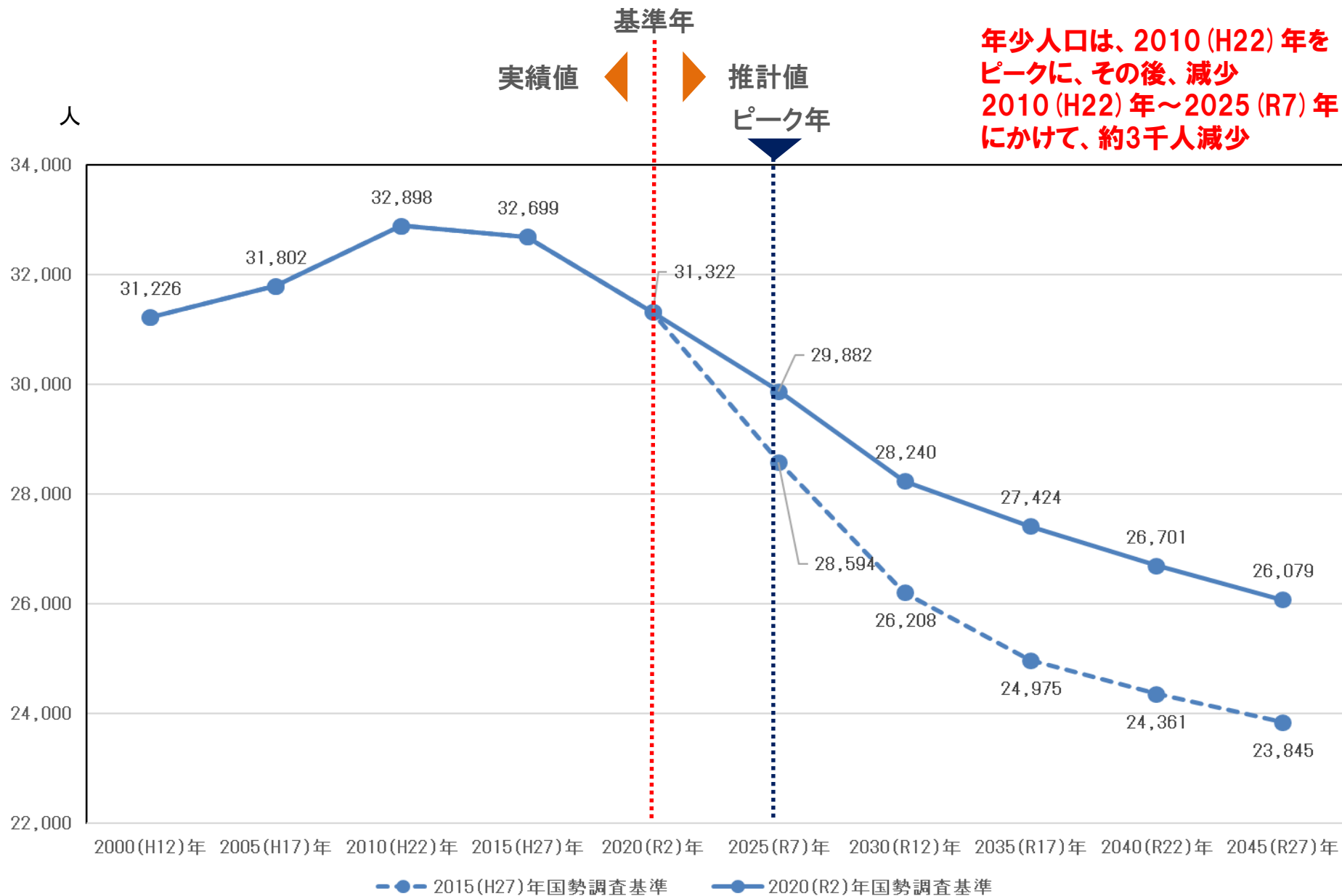
人口構成比(年齢3区分)



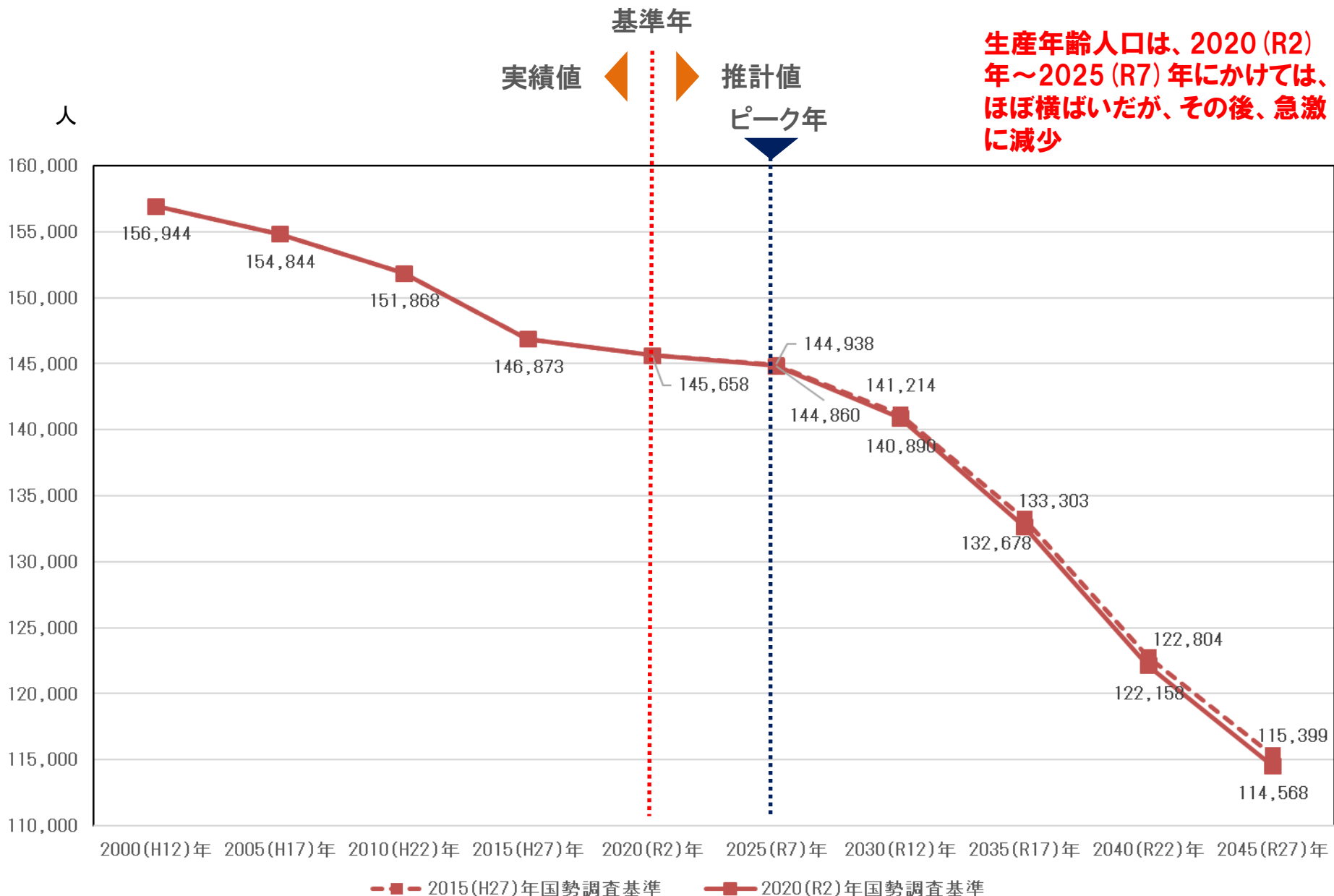
人口構成比(年齢4区分)



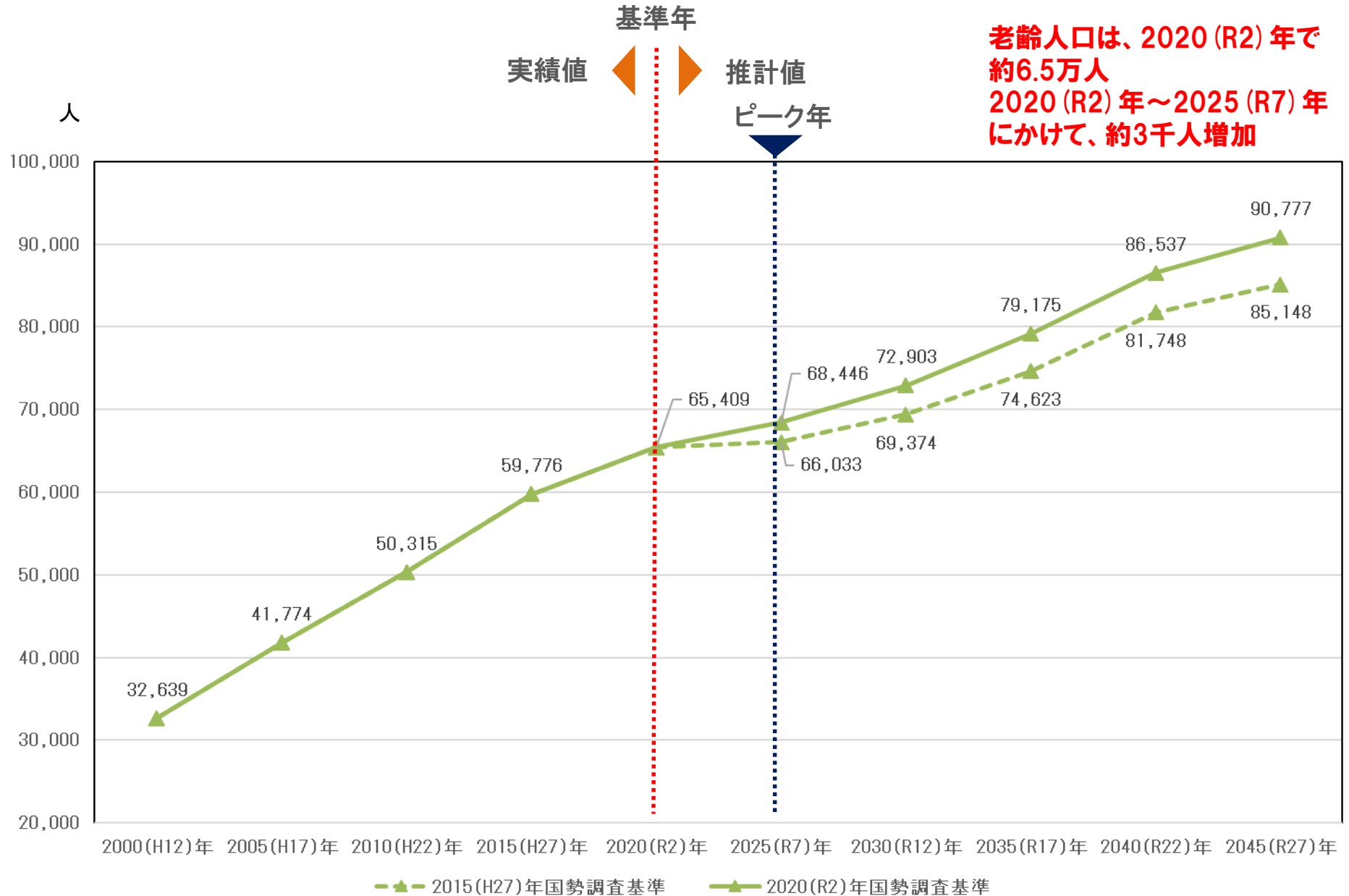
年少人口(0~14歳)の見通し



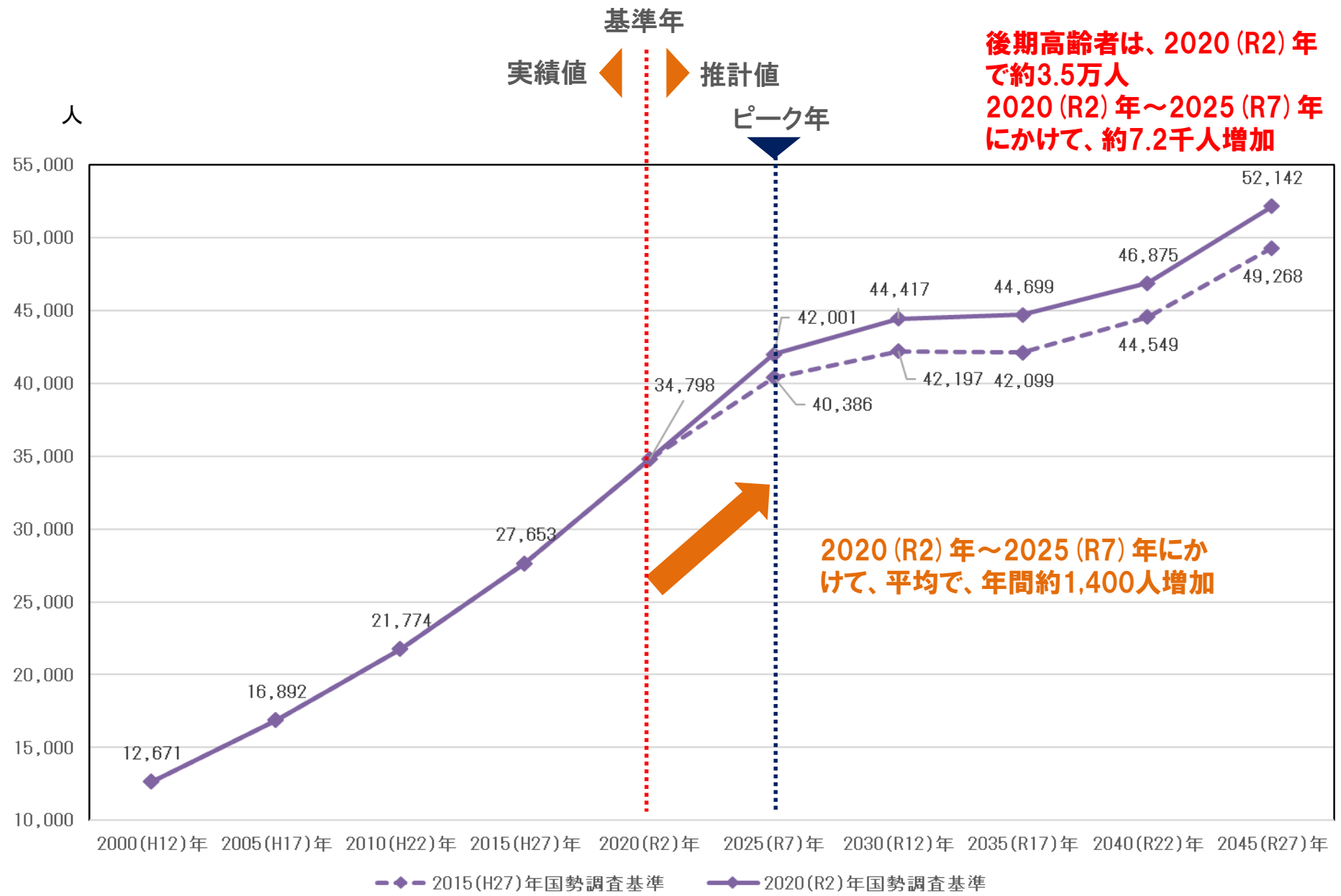
生産年齢人口(15～64歳)の見通し



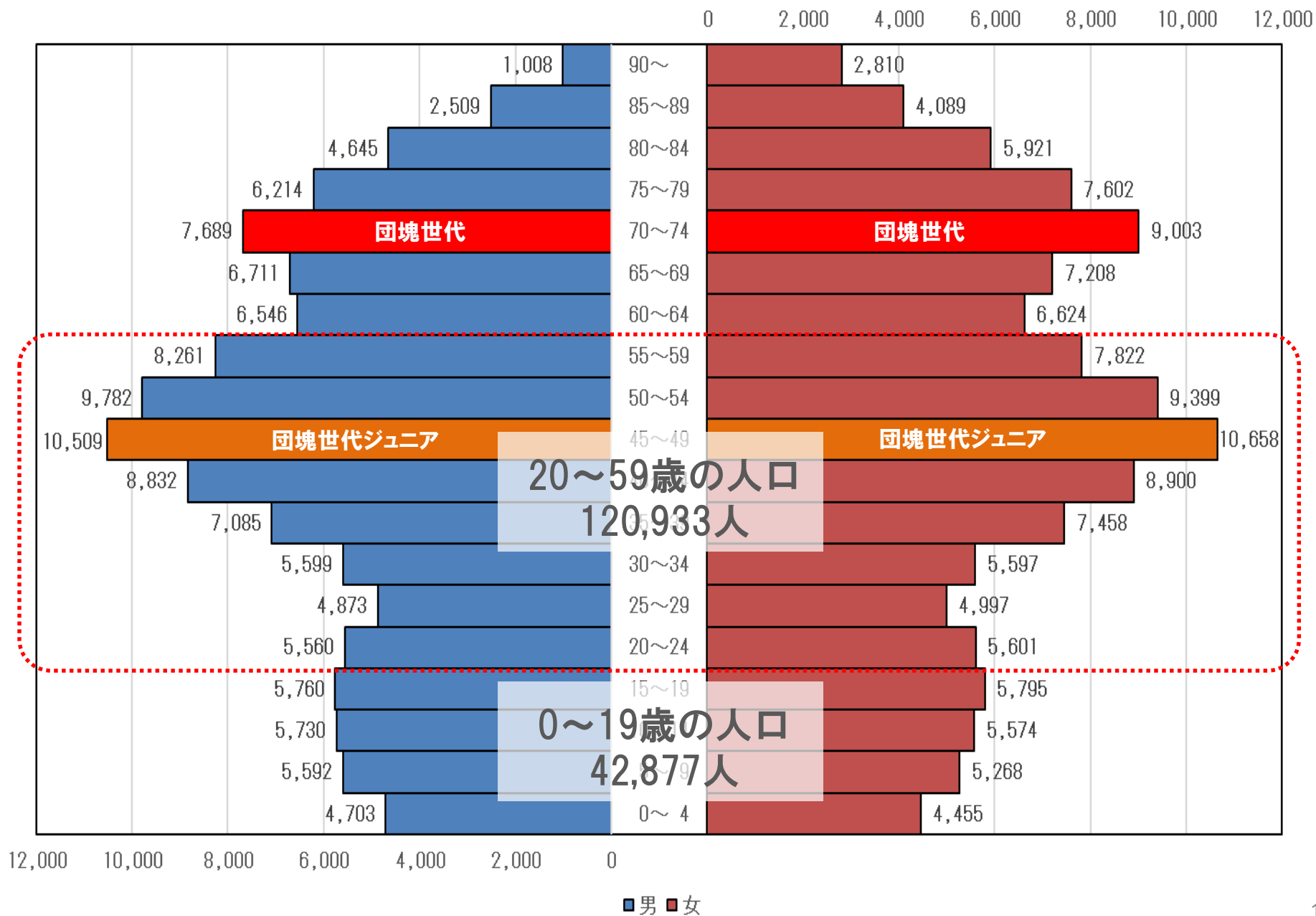
老年人口(65歳～)の見通し



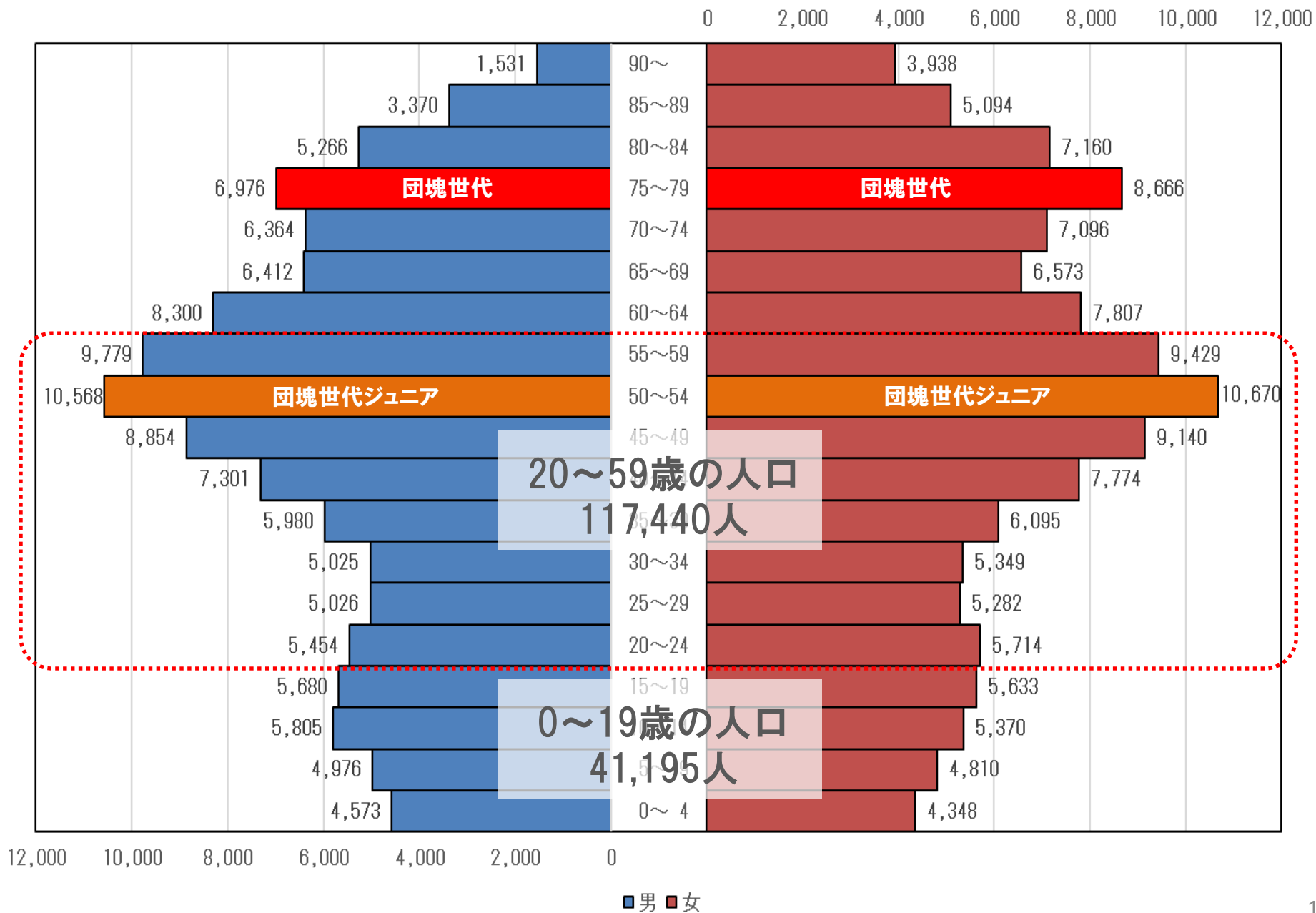
後期高齢者(75歳～)の見通し



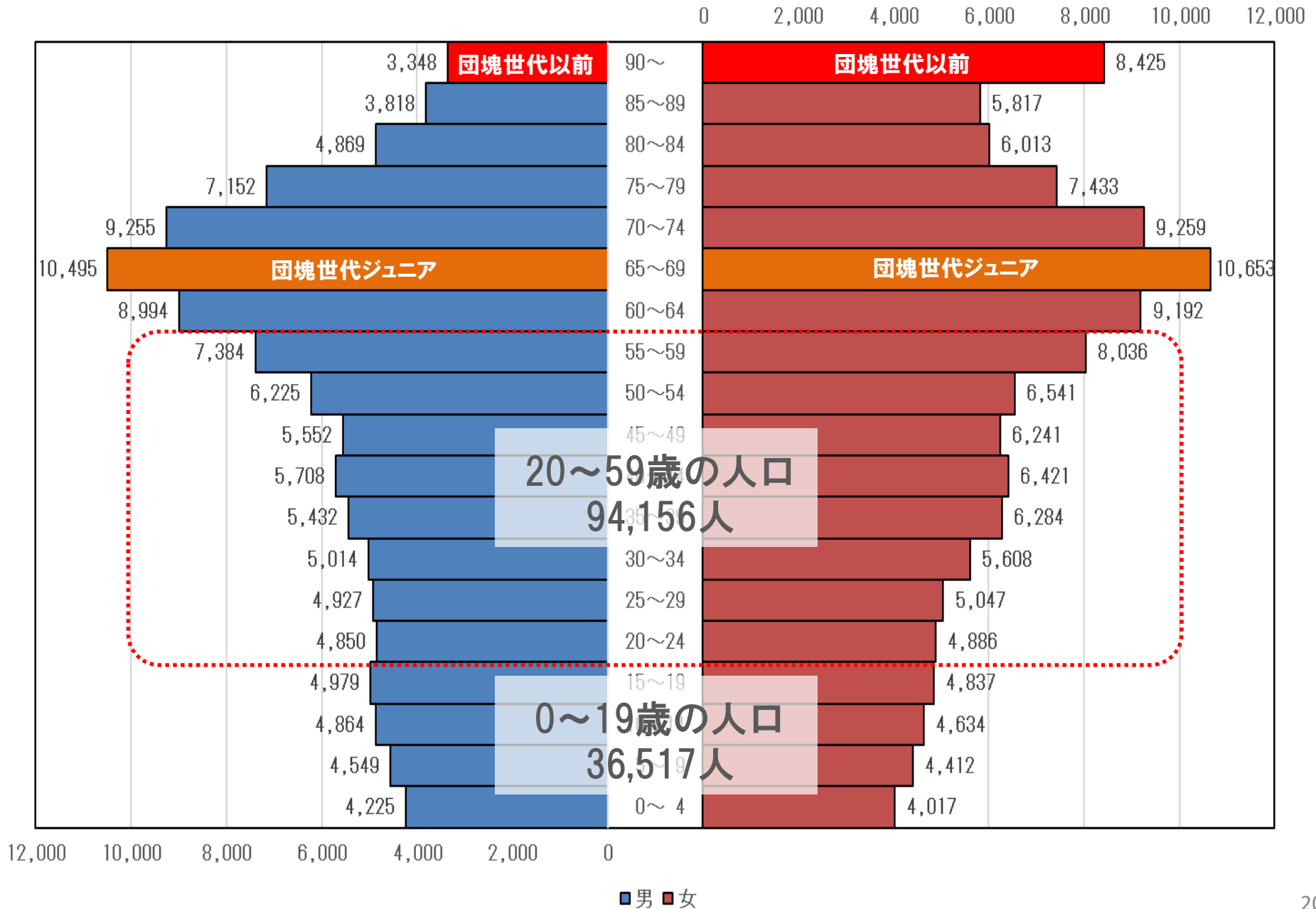
2020(令和2)年の人口構成



2025(令和7)年の人口構成



2040(令和22)年の人口構成



まとめ

- ・2025(令和7)年の約24.3万人をピークに減少する見込み
- ・年少人口は、約3.3万人の2010(平成22)年がピーク
2025(令和7)年までに約3千人減少し、約3万人となる見込み
- ・生産年齢人口は、2020(令和2)～2025(令和7)年にかけては、概ね横ばいであるもののその後、急激に減少する見込み
- ・老年人口は、2020(令和2)年～2025(令和7)年にかけて約3千人増加し、2045(令和27)年には約9.1万人(2.5人に1人)となる見込み
- ・後期高齢者人口は、2020(令和2)年～2025(令和7)年にかけて約7.2千人増加し、2045(令和27)年には約5.2万人となる見込み

2017(平成29)年推計時との相違点

- ・人口ピーク時が**2020(令和2)年**から**2025(令和7)年**へ修正
- ・ピーク時人口規模が**約24.1万人**から**約24.3万人**へ上方修正
- ・人口ピーク時の**年少人口(0～14歳人口)**が**約1.3千人**、上方修正
- ・人口ピーク時の**老年人口(65歳以上人口)**が**約2.4千人**、上方修正
- ・人口ピーク時の**後期高齢者人口(75歳以上人口)**が**約1.6千人**、上方修正